

「宮城総合支所庁舎等建替基本計画中間案」に寄せられた意見と
意見に対する本市の考え方について

No.	分類	ご意見	本市の考え方
1	庁舎機能	衛生面と福祉に関する配慮、利便性などが考えられており、とても期待している。	新庁舎は誰もが利用しやすい庁舎にしたいと考えており、安全性や衛生面も考慮します。詳細は設計段階で検討します。
2	庁舎機能	宮城保健センターの機能が新庁舎 2 階に設定されているのはいいが、乳児健診などを行う際は通路等感染症対策をしっかりとって欲しい。	
3	庁舎機能	<p>この 30 年、愛子地区は児童・学生が増え続け、これほど多くの小中学校が設立したにもかかわらず、公的な学習スペースがないことを長年不便に思っております。</p> <p>図書館も現在の文化センター・市民センターとの共存状態では蔵書数が限られる上、学生用の学習スペースはありません。また幼子が本を選べたり読み聞かせしてもらえたりする場所と大人の閲覧コーナーが近く、両者遠慮せざるを得ません。少し距離をとることが出来るくらいの広さも欲しいです。</p> <p>文化センターはすでに改修工事中なので難しいとは思いますが、支所のワンフロアを図書館と学習スペースに使えないでしょうか。</p> <p>小中高生にとってついで行ける図書館、専門学校生・大学生にはネット以外にも情報や知識が行きかう場所としての図書館、気軽に寄れるスペースが人の動きを作るのでは。</p> <p>支所に若者が足を運ぶ機会が増えれば、学生にとっては社会参加の始めの一步の機会に、行政サイドからは街づくりのアイデアを集めたり、あわよくばボランティア仕事も含め担ぎ手になる可能性も。</p> <p>総合支所のまちづくり推進課と市民センター（ひとまち財団）がタッグを組めるような流れがあると、この施設集約の地域の良さもより発揮されるような気がします。</p>	<p>新庁舎は市民の皆さんに親しまれる庁舎を目指し、多目的ホールに椅子やテーブルを並べて休憩できるスペースとするなど、地域の方が気軽に訪れる場所にしたいと考えており、具体的な活用方法については引き続き検討します。</p> <p>広瀬図書館が隣接しているため総合支所内に図書館を設置することは考えておりませんが、これまでも広瀬図書館とは宮城地区まつりなどにおいて連携した取組みを行ってきました。市民活動や地域づくりの拠点としての仕掛けをどのように組んでいくか、広瀬図書館や市民センター等との連携を含め検討してまいります。</p>

No.	分類	ご意見	本市の考え方
4	庁舎機能	<p>災害対応や業務継続ができる庁舎について</p> <p>近年クマ等野生動物が街に下りてきているので、その対策ができるようなものも常備して欲しい。</p>	<p>本市では、ツキノワグマによる被害防止対策として、現場活動時に携行するヘルメットやクマスプレーなどを備えるほか、誘因木の伐採やパトロール、やむを得ない場合の捕獲などを行っておりますが、引き続き地域における鳥獣対策に取り組んでまいります。</p>
5	構造計画	<p>免震構造についての安全自体に疑問はないが、維持管理費とその他の項目について不安がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免震構造が、想定している RC 造の耐用年数 90 年まで使用できるものなのか。 ・耐震、制震とそれぞれ 90 年使用する際のコストの試算を比較して欲しい。 ・「想定外の動き」とは具体的にどのような事なのか。その場合、免震構造のみの損傷だけですむのか。建物の使用自体に影響はないのかなど。 ・液状化する地盤の場合、杭を補強する必要があるとのことだが、P27 「環境負荷低減対策のイメージ」において井水を活用するとあり、井水の使用によって地盤に影響はでないのか。井水が枯渇した場合、再度掘削して確保する予定なのか。 <p>以上の不安点から、免震構造以外について検討して欲しい。</p>	<p>耐震性能やご指摘の井水活用を含む環境負荷低減対策については、様々な案をお示ししておりますが、来年度以降の設計において地盤調査やコストの比較検討なども行い、設計に反映させてまいります。</p>
6	外構計画	<p>基本構想の中間案でも不安視されていた冬季の路面凍結だが、広瀬文化センターと新庁舎が近づいたことで、間を通る道路の凍結がなかなか解消されなくなるのではないかと。広瀬文化センターに続く歩道は凍結しないような工夫が欲しい。</p>	<p>進入路や駐車場、歩行者通路の整備については安全を重視し、除雪のしやすさ等も含めて設計段階で配慮してまいります。</p>
7	外構計画	<p>駐車場について。車が誤って庁舎に入り込む・公園内に入り込むことがないように車止めをしっかり確保して欲しい。</p>	

No.	分類	ご意見	本市の考え方
8	外構計画	公園利用者が庁舎を使用するとき、敷地や庁舎内に泥などが入らないような工夫が欲しい。	頂いたご意見も踏まえ、総合支所と公園をそれぞれ気持ちよくご利用いただけるよう配慮します。
9	外構計画	国道 457 号線の支所への入り口と総合支所・文化センター敷地の入り口に敷地内のすべての施設がわかる案内版（離れてもわかる高さがあるもの）があるとわかりやすいと思います。（近くを歩いていて保健センターや福祉センターを尋ねられることがありました。）	頂いたご意見も踏まえ、分かりやすい案内表示等について検討します。
10	外構計画	来庁車両の入口については、歩行者や交通の安全性を確保するため、郵便局の交差点に信号を設置し、入場する形にしたほうが良い。原案では、七十七銀行の出入りと交差し、事故の危険性が高いため。	周辺道路からの進入路等については、安全を重視し、北側に整備予定の市道とあわせ、関係機関と調整を図りながら検討します。
11	その他	全体として、福祉や利便性を考慮した最先端の職場モデルとなるのではないかと期待が持てる。引き続き、職員も市民も使用しやすい庁舎となるよう議論が深まって行って欲しい。	今後の設計段階においても、市民の皆さんや職員の意見を聴きながら、利用しやすい庁舎となるよう引き続き検討します。
12	その他	意見交換会の「新庁舎の外観は広瀬文化センターの外観も考慮する必要がある」という意見を支持する。	貴重なご意見として参考にいたします。
13	その他	宮城総合支所庁舎等建替基本構想の中間案のパブリックコメントで「熊倉順吉の作品を移設する意見」があり、「宮城町時代から引き継いできたものを大切にしたい」と市が返答している事について支持する。	新庁舎は宮城地区の豊かな自然環境や歴史、文化、温泉などの観光情報等などの魅力を発信し、また、旧宮城町から受け継いできたものを大切に次世代に引き継ぎたいと考えております。頂いたご意見を参考にいたします。
14	その他	植栽は簷桜や枝垂桜を大事にしてきた歴史を思い、桜、また宮城町の町木であった梅、愛子の人々を支えたさいかちの木など謂れのある木もあると嬉しいです。またそれと別に（支所に限らずですが）、愛子には木陰とベンチがほとんどありません。お年の方や散歩の方が一休み出来る場所が欲しいです。	